

令和元年度第1回川口市青少年問題協議会 議事概要

- 日時 令和元年6月26日(水) 10時00分～12時
- 場所 川口市立生涯学習プラザ 講座室1号
- 出席委員(敬称略)
小野寺委員、田中(隆)委員、亀田委員、赤地委員、渡辺委員、大山委員、
板橋委員、竹村委員、富田委員、豊嶋委員、二瓶委員、菊地委員、
齋野委員、高橋委員
- 事務局 根岸子ども部長 日高青少年対策室長 大澤室長補佐
中村主査 古明地主事
- 次第 委嘱書交付
会長の選任
会長代理の指名
議事
(1) 川口市青少年問題協議会について
(2) 川口市の青少年対策について
(3) 川口市の青少年の現状について
(4) 青少年の健全育成等について
(5) その他
- 傍聴人 0人
- 会議資料 令和元年度第1回川口市青少年問題協議会資料
川口市いじめから子どもを守る委員会チラシ

1 開会

2 委嘱書の交付

3 市長あいさつ

4 委員自己紹介

5 事務局紹介

6 本会議について

- 〈 委員の半数以上の出席により、会議が成立する旨確認 〉
- 〈 会議録を作成、公開する旨確認 〉
- 〈 会議は公開であり、本日は傍聴者がいない旨確認 〉

7 会長の選任

- 〈 事務局案を提示、他委員より異議なし 〉
- 〈 小野寺委員が会長に就任、会長あいさつ 〉

8 会長代理の指名

- 〈 小野寺会長が田中(隆)委員を会長代理として指名 〉
- 〈 田中(隆)会長代理あいさつ 〉

9 議事

- 〈 会長が議長となり、議事進行 〉

【議長】

本会議の議事録を作成するため、議事録署名人を菊地委員、富田委員にお願いする。

- 〈 委員承認 〉

(1) 川口市青少年問題協議会について、(2) 川口市の青少年対策について

【議長】

議題 (1) 川口市青少年問題協議会について、(2) 川口市の青少年対策について
事務局へ説明を求める。

- 〈 資料に基づき事務局から説明 〉

- 〈 質疑応答 〉

【委員】

いじめから子どもを守る委員会の平成30年度実績の18ケースは少ないと思われる。
また、面談に至った6ケースは少ないのではと思われる。

【青少年対策室長】

相談件数が多いから良いというものではないが、周知不足は認識している。今後、より
いっそうの周知をしていく予定である。
また、面談については、相談者が話を聞いてもらいたいだけ、子どもからの連絡で途中
に切れてしまった等があり、なかなか面談につながらないケースが多い。

【委員】

仕事柄、いじめ等の相談を受けることがあり、いじめの原因が家庭に問題があったり精
神的な病があったりしているケースがある。どうしたらいじめがなくなるかというの
を考えているが答えは出ない。
平成30年度の面談6ケースは、現在はどうなっているのか。

【青少年対策室長】

いじめの解決というのは難しいと認識しているが、面談や学校訪問を行い、事態が一時
改善され、その後様子を見て何かあればまた相談してもらう。

【委員】

川口市いじめから子どもを守る委員会のチラシはいつから配布しているのか。

【青少年対策室長】

今月の半ばから配布し始めた。まだ取りに来ていない学校もあるが、夏休みまでには配
布が完了すると思われる。

【委員】

市内小・中・高校の配布と聞いたが、学校側はどう対応したのか。

【委員】

私の学校では、児童へのチラシの配布は完了した。また教育委員会からの指示で、市内
全校の学校だよりはこのチラシの内容や、いじめ対応教員の名前を掲載し、周知を図っ
ている。

【委員】

チラシも良いが、児童・生徒の手元に残るカードのようなものがあればよいと思う。

【青少年対策室長】

昨年度カードを作成し、市内の全児童・生徒の手に届くよう各学校に配布をお願いした。
今年度も作成するかどうかは、予算や状況を見ながら判断していく。

【委員】

学校に関わることもあり、先生たちが業務に追われていて忙しいのを知っている。だか
らこそ、学校以外の関係機関を頼って欲しい。

【委員】

チラシにあるのは、市長部局にあるいじめの相談窓口ということだが、当然教育局でもいじめの相談は受けており、相談できないわけではない。窓口の種類がたくさんあって、相談者が選べる環境にあることは良いことだと思う。

【委員】

青少年対策室の事業について、出席できるものは協力したいと考えているが、それぞれ案内がくるのか。

【青少年対策室長】

基本的には案内はしていないが、各委員の方に時間があれば、ぜひ来てもらいたい。

【委員】

非行防止キャンペーンとは何か。

【青少年対策室長】

駅頭で啓発物のティッシュを配り、青少年の非行防止啓発を行っている。今年度は、川口駅・蕨駅・東川口駅の3駅で実施する。

【委員】

青少年に関する話をする中で、家庭・学校・地域の連携が大切であると考えている。その中で、表に出づらい学校の先生が会議の場に出ていただけるのは良いことである。

【議長】

いじめの相談受付について、受付時間を遅くまで延長するとか、土日含めて広げるのはどうか。

【青少年対策室長】

この委員会が始まって2年ということもあり現在模索中であり、また、委員会の現体制では受付時間の延長等は難しいこともある。しかし、今後は受付時間の延長や委員会の体制等も含め、調査していく予定である。

【委員】

いじめから子どもを守る委員会の周知、アピール方法についてどう考えているか。

【青少年対策室長】

現状では、市内小・中・高校、特別支援学校、青少年団体等の全児童・生徒にチラシを配布しているところではあるが、さらに市民に周知するために、今後は広報誌の裏表紙の目立つところに毎号、載せてもらう。また11月に県のいじめ撲滅強調月間に合わせて特集ページを出せるように関係課と調整している。さらに、市のホームページでもより目につき、分かりやすいページとなるよう、トップページにバナーを貼り、直接紹介ページにリンクするように調整しているところである。

【委員】

試みとして、LINEで受付してみるのはいかがでしょうか。

【青少年対策室長】

他市がやっているのを注視しているが、ひやかされたり、匿名のため、面談に繋げるのに苦労したり、文字ゆえの感情の読み取りづらさからトラブルが生じるなどの報告がされている。また、現状としては、委員会の委員が常駐しているわけではないため現在の体制では難しい。

【委員】

川口市が子どものためを思っている施策であると私には伝わる。安心するし、ありがたいことである。だからこそ発信に力を入れて欲しい。

【委員】

市役所で完結するのが難しいのであれば、窓口を民間委託することを検討してみてはどうか。学校・役所を超えた横のつながりが大切。

【委員】

地域と企業がつながりにくいと感じている。地域の何かしらの役目を企業にお願いしてみてもどうか。

【委員】

いじめの窓口で相談があるのは、保護者なのか、子どもなのか。

【青少年対策室長】

相談者のほとんどは保護者であるが、子どもからの相談も何件かある。

【委員】

実体験でもあるが、子どもはいじめられたことを親に言えないことが多い。親に心配かけまいとする行為であるが、そういうことをクリアしていければと思う。

(3) 川口市の青少年の現状について

【議長】

議題（3）川口市の青少年の現状について説明を求める。

〈 資料に基づき事務局及び川口警察署生活安全課長 竹村委員から説明 〉

〈 質疑応答 〉

【委員】

警察への相談件数が多い件について、たとえばスポーツ団体の子どもの様子が親から指導なのか虐待なのか判断しづらいケースがあると聞いたことがあり、そのようなケースがあることを警察や児童相談所に知っておいてもらいたい思いがある。相談件数が多いということは頼りにされているということであり、いじめから子どもを守る委員会で見習う点があるのではと思う。

(4) 青少年の健全育成等について

【議長】

議題(4) 青少年の健全育成等について、本協議会で今後の2年間で話し合いを深めていただきたく、各委員から意見を求める。

【委員】

家庭・学校・地域のかかわりについて関心がある。みなさんのいろいろな立場から学校行事に参加していただければ学校の実情等が見えてくると思う。

【委員】

子どもの信頼を勝ち取ることが大切だと思う。日頃から子どもと関わっている学校応援団やスクールガードの方の大切さが身にしみる。

【委員】

昔と比べて近年は、少年問題が少ないと感じているが、多くのケースを見るに中高生の深夜徘徊が非行のはじまりである点は変わらないと感じる。

【委員】

校内での暴力行為が減っている代わりに、引きこもりや親からの虐待が増えているような印象。

【委員】

大津のいじめ事件からいじめの定義が見直され、いじめの認知件数が増加している。状況把握と対策のためにも、横のつながりをつくっていく必要があると思う。

【委員】

深夜徘徊の理由をきくと、家がつまらない、親子のコミュニケーション不足であることが多い。親と子、祖父母と孫のような家族対象の施策ができないかと考える。

【委員】

殴る蹴るの身体的な見えるいじめから、SNS上での見えないいじめに移り変わってきており、どう対応していけばいいものかと思っている。

【委員】

子どもに対する指導について、昔は許されたことでも今はいけないことがある。指導者の資質向上に向け研修等をしているところである。

【委員】

不良行為について、昔は常識はずれがかっこいいと思われる風潮にあったが、現在はそうではない。

個人的に学校の部活動を指導しているが、学校の先生は地域の人を活用して負担を減らし、子どもたちにとっても先生以外の大人に相談しやすい環境づくりをしていければと思う。

【委員】

子どものいじめに対して無関心でいることがいけないことだと思う。子どもの成長はまわりの環境しだいであり、それは大人の責任である。

【委員】

いじめ防止のために大人に関心をもってほしい。被害者はより弱い立場の人をいじめる次の加害者になりがちなため、大人が子どもを被害者にしないことが大切だと思う。

【委員】

お忙しい先生たちを守っていききたい。

【委員】

子の親殺し、親の子殺し事件が報道される中で、親子の関係が希薄であることがわかる。昔でいうおせっかいおじさん、おせっかいお婆さんになって積極的に声かけしていければと思う。

【議長】

皆様に発表していただいた話をもとに、今後の会議で話し合うテーマを、会長・会長代理・事務局で次回会議までにまとめて報告するという形でよいか。

〈 委員承認 〉

(5) その他について

【議長】

議題(5) その他について事務局から意見を求める。

〈 資料に基づき事務局からスケジュールについて説明 〉

10 閉会

以上